

2026年度版 製品審査 審査審査基準根拠

製品区分	大分類	中分類	小分類	重要度	申請区分
I群	水路工	U形側溝	基本型(≦600×600mm)	1 or 2	製I-水側U-1

審査項目及び審査基準				根拠 (RPCA審査基準が満足する道路土工等関係指針等)	
中項目	小項目		審査基準		
荷重	自重	埋戻し土	各基準に拠る。		
		鉄筋コンクリート			
		自重の考え方			
	土圧	主働土圧	土圧式		各基準に拠る。
	載荷重	直接載荷荷重			各基準に拠る。
側方載荷荷重					
衝撃係数					
荷重の組合せ ①常時の作用	供用時	死荷重+活荷重	各基準に拠る。		
材料及び設計諸定数	コンクリート	設計基準強度	JIS: U形側溝、 上ふた式(1種):24N/mm以上 上ふた式(2種)、落ちふた式:27N/mm以上 JIS以外: 24N/mm以上		
	鉄筋の種類		JIS: JIS A 5364 に規定されるもの JIS以外: SD295、SD345「同等以上の性能」		
許容応力度	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度		各基準に拠る。	JIS A 5372 国土交通省土木構造物標準設計(側溝・暗渠類) NEXCO用排水路構造物標準設計集 農林水産省土地改良事業標準設計(水路) 大臣官房・コンクリート二次製品構造規格(案) その他(各地方整備局および地方自治体基準)	
	コンクリートの許容せん断応力度				
	鉄筋の許容応力度				
部材の安全性の照査	解析方法		各基準に拠る。		
	構造耐力	曲げ応力度 (縦断)	頂版・蓋		JIS: 形状寸法および配筋が推奨仕様と同一であること。 JIS以外: 発生応力度が許容応力度以下であること。
			側壁		
		底版			
		せん断応力度 (縦断)	頂版・蓋		
			側壁		
		底版			
	曲げ応力度 (横断)	頂版・蓋			
		側壁			
	せん断応力度 (横断)	頂版・蓋			
側壁					
曲げ応力度 (専用樹)	頂版・蓋				
	側壁				
せん断応力度 (専用樹)	頂版・蓋				
	側壁				
グレーチング	T-25荷重を考慮した計算書であること。		グレーチング製造メーカーの設計書		
耐久性	鉄筋のかぶりの最小値		各基準に拠る。		
その他の仕様	基礎材	使用材料	再生砕石(RC-40)を標準 「道路PCa工指針」第6編 水路工編 [18]	JIS A 5372 国土交通省土木構造物標準設計(側溝・暗渠類) NEXCO用排水路構造物標準設計集 農林水産省土地改良事業標準設計(水路) 大臣官房・コンクリート二次製品構造規格(案)	
		厚さ			
	躯体同士の接合	接合仕様	目地工の処理方法が規定されていること	『道路土工要綱H21』2-7-1 路面排水工の施工	
施工	施工マニュアル	施工の手順	施工マニュアル等に記述があること 「道路PCa工指針」第6編 水路工編 [18]~[19] 第6章 U形側溝 7.3 施工方法及施工上の留意点	『道路PCa工指針』	
		施工上の留意点			
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること 「道路PCa工指針」第6編 水路工編 [17] 第6章 U形側溝 7.2.1 受渡検査 「道路PCa工指針」第3編 製造編 [20]~[23] 第3章 検査	『JIS Q 1012』B.1 製品の管理	
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置			
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置	JIS A 1108 『JIS Q 1012』B.3 製造工程の管理		
	構造耐力	試験頻度・方法、載荷荷重、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること 載荷試験により構造耐力の確認が実施されていること 試験荷重 各種基準に準拠した試験値であること 設計計算に用いた断面力から算出した試験荷重値であること 試験結果 各種基準に準拠した判定結果が合格であること 所定の荷重においてひび割れ幅が0.2mm以下であること	『JIS Q 1012』B.1 製品の管理	
材料の品質	品質	使用する材料の品質	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること 「道路PCa工指針」第3編 製造編 [6]~[10] 第2章 道路PCa製品の製造 2.3 材料の受入と貯蔵	『JIS Q 1012』B.2 原材料の管理	
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置			
	貯蔵	貯蔵の管理方法			